

第1学年 生活科学習指導案

指導者 奥野 淳平

I 単元名 「きれいにさいてね わたしのおはな」

II 単元の指導構想

1 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動植物の飼育・栽培」をもとに単元を構成し、内容構成の具体的な視点として「キ 身近な自然との触れ合い」「ク 時間と季節」を位置づけて構成している。

本単元では、アサガオを種子から育てる栽培活動を行う。この活動を通して、植物の育つ環境や、変化と成長の様子について興味や関心をもち、それらが生命をもっていることや生命をもっていることに気付くことや、植物に愛情をもちすすんでお世話をしようとする態度を養うことをねらいとしている。子どもたちは自然が大好きで、一人一人が自分のアサガオを育てるという学習活動は非常に魅力的である。自分が育てる種を選んで名前をつけ、お世話を工夫しながら成長の様子を観察していくなかで、子どもはアサガオへの愛着を深め、自分にとって『子ども』であり『友だち』のような特別な存在となっていくだろう。自分とのかかわりを深めていくことは、アサガオという対象を捉え、どうすればさらによく育つのかを考えたり、気付きの質を高めたりする原動力となる。また、自分が選んだ小さなアサガオの種が、土の中から力強く芽を出し、葉を広げ、つるを伸ばし、きれいな花を咲かせ、やがてたくさんの種を実らせた際には、その喜びとともに、アサガオと一緒に成長することができた自分に気付くことができるだろう。

本学級の子どもたちは、小学校に就学する前の幼児教育において、野菜を育てる経験をしている子が多いということが分かった。野菜を栽培して、収穫し、食べるという経験をしている児童もおり、その子たちにとっては、栽培することの楽しさや喜びを思い出しながらアサガオにかかわっていくことができると考える。しかしその一方、幼稚園や保育園での栽培活動は、学年やクラス単位での共同栽培であり、一人一人が『自分の植物』として種から栽培した経験はほとんどない。そのため、種の様子と花の様子は知っているけれども、その成長のプロセスにはほとんど触れられず、植物にも生命があり日々成長しているという認識はできていないと思われる。本単元では、子どもたちが『自分のアサガオ』を責任をもって大切に育てることによって、植物も成長し生きているのだという生命の尊さや、アサガオを大切に育てることができた自分自身の姿に気付かせるとともに、問題を解決する能力の基礎を高めていくことができるようにする。

指導にあたっては、2年生からの花の種をプレゼントされたことをきっかけとして「育てたい」という意欲を高め、本単元へと入っていく。憧れの2年生からもらう種は、子どもたちにとって身近なものとなり、より大切に育てたいという気持ちにつながっていく。たくさんの種の中から自分が選んだアサガオを栽培することで、自分とのかかわりで愛情をもち「もっとおおきくそだってほしいな」「きれいなはながさいてほしいな」と思いや願いをもって主体的に栽培活動を行うことができると考える。また、種から開花までの過程での観察活動を充実させることで、その変化や成長を実感しながら栽培させていく。アサガオとのかかわりの中で、「アサガオをもっと大きく育てたいな」「きれいに花をさかせたいな」「アサガオのことをもっと知りたいな」という思いや願いをもち、身近な生活に関わる見方や考え方を生かしながら、アサガオを分析的に捉えたり、お世話の方法や新しい学習活動を創造的に考えたりしていく。これらの学習活動を展開していくことで、生命を尊重し、生活を豊かにしていくための資質・能力が育まれ、本校教育目標のおもいやりのある子「ア 生命を尊重する」の姿につながっていくものと考えられる。

2 復興教育(3つの教育的価値)との関連

- 生命や心について【いきる】「①【かけがえのない生命】」との関わり
アサガオの栽培活動を通して、植物への親しみをもち、大切な生命をもっているということに気付く。
- 生命や心について【いきる】「②【自然との共存】」との関わり
植物が成長することの力強さや美しさに気付く、自然と共に生きることについて考える。

III 単元の指導計画

1 単元の目標

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物の変化や成長の様子、植物も生命をもっていることに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アサガオの変化や成長の様子に合わせてお世話の仕方を工夫することができる。 ・ アサガオの変化や成長から感じたことや考えたことを伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植物の成長に興味・関心をもち、継続的に栽培活動を行おうとする態度を養う。

2 学びのつながり

- 幼児教育における野菜の栽培活動で、収穫したもの食べるなどの体験を通して、植物を育てることの楽しさや、難しさを感じてきた。
- 本単元では、アサガオを一人一鉢で栽培する活動を通して、愛着をもってアサガオと関われるようにする。その中で、植物の変化や成長に気付かせ、生命の尊さを感じさせていく。
- これらの学びが、3年生以降の理科の学習における土や水、日照、肥料といった生育条件という知識の基礎となり、植物を命ある存在と認め、小さな命でも愛情を注ぎ大切にしようとするおもいやりの心へとつながっていく。

3 単元の評価基準

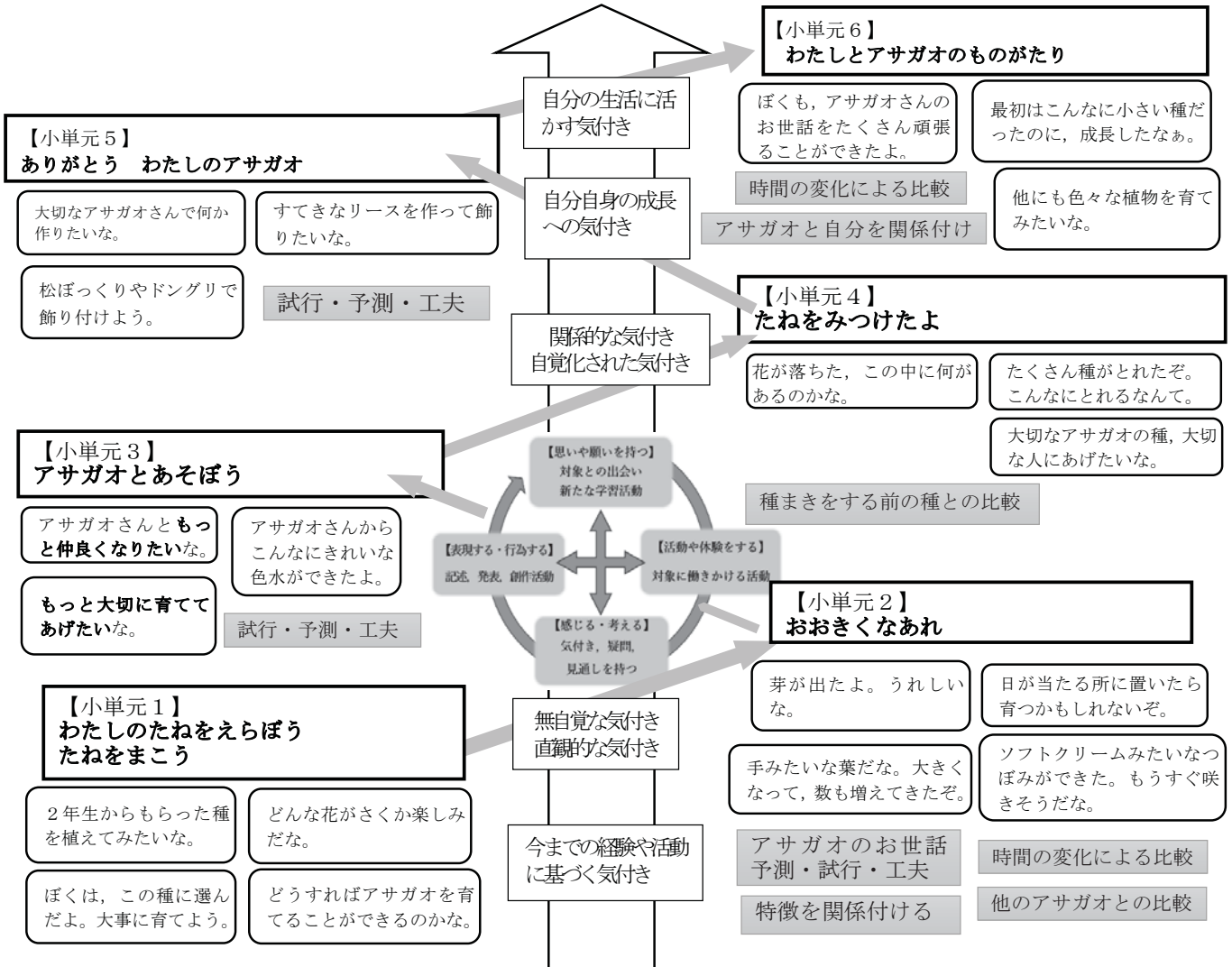
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① アサガオの特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。 ② アサガオは自分たちとおなじように生命をもっていることに気付いている。 ③ 植物への親しみをもち、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。	① アサガオの立場に立って育つ場所、支柱、草取り等の世話の仕方を考えている。 ② アサガオの変化や成長について考えている。 ③ アサガオとの関わりを振り返り、感じたり考えたりしたことを自分なりの方法で表している。	① アサガオに関心をもって関わろうとしている。 ② アサガオに心を寄せ、繰り返しかわろうとしている。 ③ 植物に親しみをもち、大切にしようとしている。

4 単元の指導構想と評価の計画（全17時間）

時	学習内容 働かせる見方・考え方	研究にかかわる手立て	評価基準及び評価方法
1	《わたしのたねをえらぼう》 ○ アサガオの花の写真を見たり、2年生からプレゼントされた種を観察したりして、色や大きさをもとに、 育てたい種を選ぶ。	【手立て1】 種を選ばせることで、自分のという意識を高める。	学びに向かう力 ① 〈行動・発言〉
2 3	《たねをまこう》 ○ 種まきについて調べたことを交流し、土をやさしくかけるなど、 どのように種をまけばよいかを考える。 ○ 土を鉢に入れ、種まきをする。	【手立て2】 種や土の様子を例えながら表現させることで、対象の特徴を捉えさせる。《例える》	学びに向かう力 ① 〈行動・発言・観察カード〉
4 5 6 7 8 9 10 本時	《おおきなあれ》 ○ 双葉が出てきた様子を観察し、 色や形など、気付いたことや自分が思ったことを観察カードに記録し、その様子を観察カードや身体表現を用いて友だちと伝え合う。 ○ アサガオを大きく育てるために植木鉢の置き場所をアサガオの立場になって考える。 ○ 本葉が出てつるが伸びてきた様子を観察し、色や形や数など気付いたことや自分が思ったことを観察カードに記録し、友だちと伝え合う。 ○ つるが伸びて成長してきたアサガオの様子を観察し、これまでのアサガオの成長と、自分がしてきたお世話を振り返り、これからのお世話活動について考える。 ○ 支柱を立てるなど、 必要なお世話について考える。 ○ アサガオの葉やつる、つぼみの様子を観察して、気付いたことをや自分が思ったことを観察カードに記録したり、友だちと伝え合ったりする。 ○ アサガオの花の様子を観察して、気付いたことや自分が思ったことを観察カードに記録したり、友だちと伝え合ったりする。	【手立て1】 種、双葉、本葉、つる、花と観察活動を充実させることで、成長のプロセスを捉えることができるようにする。 【手立て2】 ・ どうすればアサガオがよく育つのかを予測し、お世話の仕方を工夫する。《試行、予測、工夫》 ・ 少し前のアサガオや、友達のアサガオ、他の植物と比較しながら、アサガオの成長や特徴に気付かせる。《比較》 ・ アサガオの成長と、自分が頑張ってお世話を続けてきたことをつなげる。【関連づける】	知識及び技能① ② 〈行動・発言・観察カード〉 思考力、判断力、表現力等①②③ 〈行動・発言・観察カード〉 学びに向かう力 ② 〈行動・発言・観察カード〉
11 12	《アサガオとあそぼう》 ○ アサガオの花でどんなことができるか を話し合い、色水遊びや、たたき染めをして、自分が大切に育ててきた アサガオへの愛着をさらに深める。	【手立て2】 ・ アサガオの花でできることを考え、遊びに活かす。《試行・予測・工夫》	思考力、判断力、表現力等③ 〈表現、行動〉
13	《たねをみつけたよ》 ○ 花が咲いた後の様子を観察し、種とりをする。 ○ 種とりをしたことをカードに書く。 ○ とった種をどうしたいか を考える。	【手立て2】 ・ 種まきをする時の種と比較し、一粒の種からたくさんの種ができたことに気付かせる。《比較》	知識及び技能② 〈発言、観察カード〉
14 15	《ありがとう わたしのアサガオ》 ○ これまで育ててきた アサガオをどうするか を考え、つるを使ってリースづくりをしたり、1年生に種をプレゼントする準備をしたりする。	【手立て2】 ・ アサガオをつかって、思い出に残るものを工夫してつくる。《試行・予測・工夫》	思考力、判断力、表現力等③ 〈表現、行動〉
16 17	《わたしとアサガオのものがたり》 ○ これまでのアサガオと 自分とのかわりを振り返り、アサガオと一緒に成長してきたことについて考えたり、自分なりの方法でまとめたりする。	【手立て2】 ・ アサガオの成長と、自分の心情を関連付け、継続してお世話をすることができた自分の頑張りや成長に気付かせる。【関連づける】	思考力、判断力、表現力等②③ 〈表現、行動〉
時間外	《つぎはどんなはなをそだてようかな》 ○ これまでの栽培活動の経験をもとに、 つぎはどんな花を育てたいのか を話し合い、一人ずつ育てたい花を選び栽培する。		学びに向かう力 ③ 〈発言、行動〉

5 単元構想図

育成を目指す資質・能力			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	生活上必要な習慣や技能
① アサガオの特徴、育つ場所、変化や成長の様子への気付き。 ② アサガオは自分たちとおなじように生命をもっていることへの気付き。 ③ 植物への親しみをもち、上手に世話ができるようになった自分への気付き。	① アサガオの立場に立って育つ場所、支柱、草取り等の世話の仕方を考える力。 ② アサガオの変化や成長について考える力。 ③ アサガオとの関わりを振り返り、感じたり考えたりしたことを自分なりの方法で表す力。	① アサガオに関心をもって関わろうとする態度。 ② アサガオに心を寄せ、繰り返しかかわろうとする態度。 ③ 植物に親しみをもち、大切にしようとする態度。	・ 植物のお世話を継続的に行う力。 ・ 本や資料を使って知りたいことを調べる力



これまでの生活科の学習での気付き (子どもの実態)	他教科と関連した技能的な資質・能力の実態
<ul style="list-style-type: none"> 春に咲くお花がたくさんあったよ。きれいだな。 野菜を育てるのは楽しいな。自分が育てた野菜って、こんなにおいしいんだな。 お花がしぼんでしまうと、とても悲しいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思っていることを話すことはできるが、文字を書くことに慣れておらず、プリントなどに文章として記述するのは難しい。(国語) クーピーやクレパスを用いて色彩豊かに絵を描くことができる。(図工)

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿との接続			
(2) 自立心	(3) 協同性	(6) 思考力の芽生え	(7) 自然との関わり・生命尊重
やるべきことを正しく判断する力が身に付いているが、そこから行動に移すことができない子どもがいる。アサガオへの水やりなどを、諦めずに続けることや、自分でできることは自分で取り組もうとする態度をさらに育てていく。	自己中心的な学びが多く、友だちと協力して考えたり、試行錯誤しながら問題を解決しようとする態度は不十分である。伝え合う学習を繰り返し、教師や友だちの話に耳を向け、協力して学ぼうとする態度を育てていく。	物事のしくみや理由について考えることが好きな子どもが多い。その一方で、友だちの考えを比べたり、つなげたりすることはまだできていない。様々な考えに触れる中で、考えを広げたり、新しい考えを生み出したりできるようにしていく。	身近な自然に興味・関心をもってかかわろうとする姿が見られる。しかし、栽培活動の経験がほとんどなく、植物も生命をもっていると考えている子どもは少ない。自分との関わりで継続的に栽培活動に取り組みせることで、自然の不思議さや生命の尊さに気付かせていく。

国語
社会
算数
理科
生活
音楽
図画工作
家庭
体育
外国語
道徳
総合
特別活動
特別支援

IV 本時の指導計画

1 目標

アサガオの葉やつるを観察することを通して、植物の日々の成長や変化を捉え、これまでお世話をしてきた自分の頑張りに気付くことができる。

2 評価基準

【知識及び技能の基礎】

アサガオの成長の様子に気付く、これまでお世話をしてきた自分の頑張りに気付くことができる。

【思考・表現】

アサガオの成長について比較しながら考え、感じたことや考えたことを表現できる。

〈努力を要する状況の児童への手立て〉

視点を与えながら植物を観察させ、アサガオの成長に気付かせる。

3 展開

段階	学習過程	時間	学習活動 ○期待する子どもの姿	研究にかかわる 手立て	◇準備◆留意点 評価
導入	思いや願いをもつ	5	1 本時の課題をつかむ ・ アサガオの声を聴きながら、自分のアサガオの成長を友だちに紹介する。 ○ 見て見て、ぼくのアサちゃん、 こんなに大きくなったんだよ。 ○ ぼくのアサっちもみんなに紹介したいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アサガオはどんなせいちょうをしたのかな。</div>	○ アサガオの成長や、その成長を見取っていることを称賛し、自分のアサガオはどのくらい成長しているのかを観察したいという思いや願いを持たせる。	◇ アサガオ電話 ◆ 一人一鉢のアサガオの鉢に袋をかけて、アサガオを見えないようにしておく。 ◇ これまでの学習の足跡 ◆ 発見したことを称賛し、たくさんの気付きを得るように声をかける。 ◆ 比較しながら分析的に思考している様子を称賛し、周囲にも広げる。
	活動や体験をする	12	2 自分のアサガオを観察する ・ どのくらい成長したのかを捉えるためには、どうすればよいのかを考える。 ・ 葉の形や数や大きさ、つるの様子などの植物の成長の様子に目を向けさせ、成長や変化を捉える。 ○ 葉っぱをよく見ると、小さな毛がふさふさ生えているよ。 ○ 葉っぱが僕の手と同じくらいの大きさになったよ。 ○ 前はぼくの親指くらいの長さだったのに、今は腕くらいの長さがあるぞ。 ○ 新しい葉が出てきそうだよ。	○ これまでに種、双葉、本葉の時に観察した結果と比較させることで、時間による変化に目を向け、アサガオの成長を捉えさせる。 【比較】	◇ 観察カード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アサガオの変化の様子に気付き、成長していることに気付く。 (会話・観察カード) 【知・技】</div>
展開	感じたり考えたりする	10	3 観察カードを書く ・ 観察をして気付いたことや、自分なりに感じたことや考えたことを絵や文をつかってカードに気付いたことを記録する。 ○ アサガオもぼくと同じように毎日成長しているということが分かった。 ○ アサガオの葉っぱがたくさん増えていても嬉しかったよ。	○ 友だちのアサガオと比べて違いを捉えさせる。 【比較】	◇ 観察カード <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アサガオの成長について考え、これまでのかめわりから考えたことを表現している。(発言・観察カード) 【思・判・表】</div>
		10	4 伝え合う ・ カードを用いたり、身体表現をしたりして、気付いたことを、友だちに伝え合う活動を行う。 ○ ぼくのアサガオは、 前はこんなに小さかったのに、今はこんなに大きくなったよ。 ○ 自分が思っていたよりも 葉っぱの数が増えてびっくりしたよ。 5 これまでのお世話を振り返る ・ 昨日のアサガオと比べて何が違うのかを考える。	○ 葉やつるの様子を別のものに例えながら表現している児童を称賛し、他へと広げる。 【例える】	◆ アサガオに自己投影させながら成長の喜びを表現させる。 ◆ 昨日と今日のアサガオを比べることで、日々の成長は小さいけれど、確実に成長しているということを捉えさせる。
終末	思いや願いをもつ	5	○ 1日での成長は目に見えないけど、少しずつ成長しているんだ。 ・ なぜ、アサガオがここまで成長したかの理由を考える。 ○ これまで毎日お水やりをできたからこんなに大きく育てくれたんだな。	○ 水やりカードを見直し、頑張ってきたお世話と、アサガオの成長をつなげる。 【関連付ける】	◆ 視点をもとに振り返らせ、気付きの自覚を促し、価値づける。 ◆ さらなる思いや願いを価値づけ、栽培活動へ意欲を持たせる。
		3	6 本時の振り返りを行う。 ○ これからも、大切に育てたいな。		